

(様式5)

調査報告書

訪問調査日	平成19年9月3日
調査実施の時間	開始 10時 00分 ~ 終了 15時 20分

訪問先事業所名 (都道府県)	医療法人昌円会 グループホーム華はびきの (大阪府)
-------------------	---------------------------------

外部評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

評価調査員の氏名	氏名 日野和臣
	氏名 櫻井良子
事業所側対応者	職名 管理者
	氏名 橋本幸子 ヒアリングを行った職員数 (6)人

記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。

項目番号について

外部評価項目は30項目です。
「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【評価実施概要】

事業所番号	2773801267
法人名	医療法人 昌円会
事業所名	医療法人昌円会 グループホーム華はびきの
所在地	大阪府羽曳野市島泉 8 - 5 - 19 (電話) 072 955 8800
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ 大阪支店
所在地	大阪市中央区本町4-4-24住友生命本町第2ビル3階
訪問調査日	平成19年9月3日

【情報提供票より】(平成19年7月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年 11月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	11人	常勤 8人, 非常勤 6人, 常勤換算	9.45人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	3階建ての	2~3階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	50,000円	
敷金	有(200,000円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4) 利用者の概要(7月18日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	1	要介護2	5		
要介護3	9	要介護4	3		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 86.7歳	最低	75歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人昌円会 高村病院・芝池歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームであるが、併設されているデイサービスセンターや介護老人保健施設、訪問介護等の多様なサービス提供体制が整えられており、情報面でも共有化を図ることでサービスの質の向上に取り組んでいる。地域密着型サービスの役割を理解し、市を中心とした関係機関との連携や定期的な運営推進会議の開催、地域住民との交流等にも注力している。現在、更なる介護技術の向上にむけて、ホーム内でも勉強会を定期的に行っており、この点も評価できる。今後、これまでの知識と経験を地域の高齢者の暮らしに活かし、貢献されることを期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 鍵をかけないケアの実践と継続的な研修の受講が前回評価での課題として挙げられた。その後の取り組みとして、年間研修計画を作成し、その計画に基づく内部研修及び外部研修の参加機会の確保がなされており、改善への前向きな姿勢が確認された。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、介護主任及び介護職員が中心となり、管理者が作成内容確認を行う形で行われている。実施後は、各職員が、個別で確認することで周知が図られている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 入居者及び家族代表、地域住民代表、市関係者、介護相談員、医師、職員代表等の参加の下、2ヶ月ごとに開催されている。現状報告、行事予定、ホーム内検討課題報告、介護勉強会開催、家族会創設、医療連携体制等、サービスの質向上に向けた種々の話し合いが、建設的に行われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 運営推進会議での家族代表との意見交換の機会もあるが、それ以外にも家族懇談会を行い、話しやすい雰囲気にも配慮しながら、意見収集に努めている。頂いた意見も会議等の場で共有、検討後、次回開催時での報告がなされている。意見箱の設置やアンケートの実施等の取り組みもある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームで開催する夏祭り等に近隣住民を招いたり、また、小学生と交流を図る機会も設けている。また、大正琴や日本舞踊や社交ダンス等の近隣住民によるボランティアの受け入れも行っている。地域で開催される催しにも参加し交流を図っている。併設しているデイサービスの利用者との交流を行う機会も設けられることがある。

2. 調査報告書

主任調査員氏名:日野和臣 / 同行調査員氏名:櫻井良子

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム立ち上げ当初より、事業所のサービス提供指針として、家庭的な環境作りと積極的な社会参加の実践を挙げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に掲示することで意識しやすい様にし、ミーティング時においても理念について振り返る機会を持つことで、ケアに結びつけるようにしている。		
2.地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームで開催する夏祭り等に近隣住民を招いたり、また、小学生と交流を図る機会も設けている。また、大正琴や日本舞踊等の近隣住民によるボランティアの受け入れも行っている。地域で開催される催しにも参加し交流を図っている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価受審に際し、管理者より職員に対して周知を図り、自己評価も介護主任や介護スタッフが中心となり、管理者が内容確認を行う形で行われた。昨年実施後の指摘事項に関しても積極的に改善に向けた取り組みがなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者及び家族代表、地域住民代表、市関係者、介護相談員、医師、職員代表等の参加の下、2ヶ月ごとに開催されている。現状報告、行事予定、ホーム内検討課題等、サービスの質向上に向けた話し合いが、建設的に行われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は毎月、市の担当者を訪問している。ホームの現状報告を行う等、情報交換を行っている。介護相談員派遣の受け入れも行き、入居者の要望聞き取り等、協働しながらサービスを提供している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の利用料の支払いは原則、ホームでの現金支払いとなっており、定期的に家族の面会もある為、その際に、近況報告を行っている。また、年に4回、ホーム便りも発行されており、行事予定やホームの様子も伝えられている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議での家族代表との意見交換の機会もあるが、それ以外にも家族懇談会を行い、話し易い雰囲気にも配慮しながら、意見収集に努めている。また頂いた意見も会議等の場で共有、検討を行っている。意見箱の設置やアンケートの実施等の取り組みもある。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>本人の希望や適性により、法人内異動等はあるが、離職者は比較的少ない。異動等の際には、引継ぎの期間をしっかりと持ち、入居者へのダメージを防ぐために、馴染みの関係を重視した人員配置となるように調整を図っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画を作成することで、介護技術向上に向けた内部研修を定期的実施している。また、職員のレベルに応じた外部研修参加の機会も確保することで、モチベーションの維持へと結び付けている。出席した研修は他者と共有すべく伝達されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内の介護保険事業者連絡会及びグループホーム部会の参加を通じて、情報交換を行っている。また研修会を実施して、レベルの向上を図りつつ、同業者と交流する機会を確保している。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には本人及び家族との相談を十分に行い、入居後も出来る限り家族の協力を得ながら、サービス提供を開始している。また、併設しているデイサービスや小規模多機能居宅介護サービスを利用して頂きながらホームに馴染んで頂くことも可能である。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の過去の体験や知識から職員は日常的に学ぶことがあり、入居者は介護を受ける側という立場にならないよう現在できるところで、役割を持って頂きながら生活をして頂くように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からの情報や入居者との直接の対話の中で、その時々意向を把握できるように努めている。自宅での暮らしを望む入居者は多いが、家族との相談や協力を得ながら対応していきたい考えである。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時のアセスメントや日常での入居者及び家族とのかかわりの中で、情報を収集し、介護計画に反映するよう担当者は考慮している。また、定期的に行うケアカンファレンスでの意見も踏まえた介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとに、個別のケアカンファレンスを実施し、評価を行い記録として残している。また、6ヶ月ごとのプラン更新を基本としつつ、変化が見られた際には、計画の見直しが行われ、サービス内容の変更へとつなげている。</p>		<p>短期及び長期目標設定も適切に行われ、サービスが実施されている。現在、介護計画更新時期を長期計画に合わせているが、短期目標期間設定での見直し及び更新を実施することで更にきめ細かい検証とサービス提供が実現できると考える。介護計画の内容確認、見直し及び更新時期の短縮化を実施されることに期待したい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療法人が運営するホームであり、医療連携面でも柔軟な支援を実施している。また、入居者及び家族の状況により、公的な機関への同行やその対応を援助する等の支援も行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者の希望によりかかりつけ医での継続受診も可能であるが、通院介助が必要な場合は家族の介助が必要である。ホーム提携の往診は毎週あり、健康管理がなされている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用開始前後での意思確認、また状況に応じた話し合いを行うことで、終末期等に関する考え方を共有している。また、医療連携により出来る限りのホーム内支援が行われている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>法人内に接遇委員会を設け、ホームからも担当者が会議等に出席し、プライバシーの確保にむけて取り組みがなされている。接遇向上を職員共通の目標に掲げ、意識を高めている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床時間や食事時間等、その日の様子に合わせた対応を行っている。散歩や買物等の外出希望もその時の状態に配慮しながら柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立づくりは法人内の栄養士の協力を得ながら作成され、栄養バランスに配慮している。食事作りの過程の中で、利用者の力を活かしつつ、共に楽しみながら食事を摂れる配慮が見受けられる。また、時には外食して、気分転換を図っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴できる曜日や回数等、特に決まりごとはなく、入居者の希望により柔軟に支援している。併設されているデイサービスの大きな浴室で入浴することもある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花の水やりや新聞取り等、できることは行って頂けるように声かけを行っている。また、楽しみごとや気晴らしの支援として、図書館へ行って本を読んだり、カラオケで歌ったり、絵を描いたりして好きなことを入居後も継続して行って頂くように配慮している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物は出来るだけ多く、共に出掛けるように努めている。また公的施設や公園等に行ったり、年に数回は遠方まで外出することで気分転換を図れるように配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各階の移動はエレベーターを利用するが、キー操作を有する為、入居者自身で自由な出入りをできる状態ではない。しかしながら、入居者の外出傾向を把握し、共に出かけることで安全面に配慮した支援を行っている。		立地条件等により難しい面もあるが、自由に外出できない入居者の立場に立ち、その意識を持ち続けた支援を継続されることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に2回、消防署等の協力を仰ぎ、避難訓練を実施している。災害対策に関しては、運営推進会議でも取り上げて、更に近隣との連携を強化したい考えである。防災計画や対応マニュアルも整備されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士のアドバイスを得ながら、栄養バランスに配慮した献立づくりを行い、また入居者の体調に配慮した個別支援を行っている。食事摂取量の確認も毎食後行っている。給食委員会を設けて、話し合いを毎月行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用のリビングは南向きで明るく、入居者も落ち着いた様子で過ごされている。生活感や季節感を適度に取り入れ、また清潔な状態が保たれている。ソファやテレビの設置もあり、ゆっくりと過ごすことができる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内はホーム側の備品としてベットとタンスが用意されることになっているが、本人の状態に合わせた変更が可能になっている。入居者に合わせた変更に合わせている。入居者の使い慣れた物も持ち込まれてあり、独自性もつかえる。</p>		

は、重点項目。